
敦君の作文

鹿野 魁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

敦君の作文

【Nコード】

N7348A

【作者名】

鹿野 魁

【あらすじ】

丸橋小学校の一年二組では作文の宿題が出ました。そこで敦君は家族に作文を教えてもらうのですが……。

「はい。今日の宿題は作文です」

日本の中のきつとどこかの都道府県にあるはずの「丸橋小学校」

今、その学校の一年二組の担任に当たる小崎先生が妙なテンションで子供たちに宿題を出しました。

ちなみにこの小崎先生。まだ教師歴は二年なので子供たちのことをよく分かっていません。なので、一年生にも平気で作文の宿題を出します。

「せんせい！ さくぶんってなにー？」

敦君が先生に聞きました。

「分からない人は、おうちの人に聞いてくださいねー」

クラスの皆は一人も漏れなく家の人に聞こう。と思いながら家に帰りました。

家に着いた敦君は早速、かばんの中から先生にもらった原稿用紙を取り出すと、それと鉛筆を持って台所に居るお母さんの元へ行きました。

「おかあさん。さくぶんってなにー？」

敦君は聞きましたが、お母さんは夕飯を作っている最中で手を離せなかったのです。

「後でね」

といいました。

敦君は「あとでね」とお母さんに言われたとおりに原稿用紙に書きました。

次にお父さんに聞きました。

「ねえ、ねえ。おとうさん。さくぶんってしってる?」
するとお父さんはクラブを磨きながら

「あつたりめーじゃん」

敦君は「あつたりめーじゃん」と書きました。

次にお兄ちゃんに尋ねました。

「さくぶんってなに?」

でも、お兄ちゃんは友達に電話をしていたので

「三時頃、バイクで行くぜ!」

といいました。

敦君は「さんじごろ、ばいくでいくぜ!」と書きました。

次におじいちゃんのところに行きました。

「おじーちゃん。さくぶんおしえてー」

けれど、おじいちゃんは少し呆けていて、自分の世界に入っていたので、大好きなお菓子のCMの歌を歌っていました。

「やめられない、止まらない。かっぱえ せん」

敦君は「やめられない、とまらない。かっ えびせん」と書きました。

最後に弟の隆に聞きました。

「たかしー。さくぶんってしってるかー?」

隆はアン ンマンのテレビを見ていたので。

「あー ぱーんまーん」

と言いました。

敦君は「アーンパーン ーン」と書きました。

「よし! おうちのひとぜんいんにきいたから、さくぶんはばっちりだ!」

敦君は自信満々にうれしそうに原稿用紙を鉛筆をかばんと筆箱に

しまいました。

次の日。

「作文は書いてきましたかー？」

「……はい……」

小崎先生の問いに子供たちの声が重なります。

「発表してくれる人ー」

「……はい……」

子供たちが手を挙げて返事をします。

「じゃあ、敦君。作文を発表してください」

敦君は立ち上がるところ言いました。

「あとでね」

先生の顔が見る見る赤くなっていきます。

「先生をからかっているのですか！」

「あつたりめーじゃん」

敦君は表情を変えずに言います。

「あとで職員室に来なさい！」

からかうことになれていない先生は言葉を荒げて言いました。

「さんじごろ、ばいくでいくぜ！」

先生はその敦君の言動に困惑気味です。

「あなたはいつたい、何が言いたいのですか？」

「やめられない、とまらない。かつぱえびん」

一方敦君の目線は、原稿用紙を向いたままです。

「先生の顔を見なさい！」

「……インパンマン……」

先生の堪忍袋の緒が切れました。

「廊下で立ってなさい！」

敦君は先生の言葉に素直に従って廊下に出ましたが、

「どうしておこられたんだろう？」

と、先生が敦君の原稿用紙を見て誤解を解くまで首を傾げていました。

(後書き)

09/08/29 質問がありましたので記しておきます。

「この作品には元ネタがあります」

もしかしたらご存知の方も居るかもしれませんがね。

06/07/16 書き忘れ付け足し

06/07/15 投稿

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7348a/>

敦君の作文

2010年10月28日08時48分発行